

私たちの学校では、「家庭、地域、学校で、積極的にあいさつをしよう。」をスローガンに、今月から、あいさつ運動が始まりました。

そこで、私たちのグループでは、このあいさつ運動をきっかけに、あいさつについて考えてみようと思い、日常生活でのあいさつについて、クラスの中でアンケートをとって調べたり、グループで話し合ったりしました。

最初に、家庭の中での、朝起きたとき、外出するとき、外出から帰ったとき、食事の前、食事の後の五つの場面を示し、それぞれのときにあいさつをするかどうか、調べました。

その結果、一番多かったのが外出するときで、八割以上の人が「行って来ます」などのあいさつをしていることがわかりました。続いて、帰宅したときの「ただいま」、朝の「おはよう」、食事の前後の「いただきます」と「ごちそうさま」が多く、どれも七割ぐらいの人が実際にあいさつをする習慣があることがわかりました。

次に、地域や学校で、友だちや先生、近所の人など、家族以外の人に対して、「おはよう」や「こんにちは」などのあいさつをしているかどうか調べたところ、友だち同士では、家庭内と同様多くの人があいさつを交わしているのに、近所の大人の人に対しては、あいさつをする人の割合が、大幅に減ることがわかりました。

アンケートの結果から、私たち中学生は、家庭内では、あいさつをする割合が比較的高いものの、近所の大人の人に対しては、あまりあいさつをしないことがわかりました。「最近の若い者はあいさつができない。」と言われたりするの、こういったことが理由かもしれません。

以上のことをもとに、私たちは次のように話し合いました。  
あいさつには、「行って来ます」などのように、自分の行動を相手に知らせるはたらきや、「ごちそうさま」のように感謝の気持ちを表すはたらきがあります。また、「おはよう」など、単に声を掛け合うだけにみえながら、あいさつをすることによって心と心の結びつきを生んでいる例もあります。

私たちが心を開いて呼びかけ、そして、相手からもあいさつが返ってくると、お互いの心が次第に結ばれていくように思います。  
だからこそ、私たちは、日常生活でのあいさつをもっとも大切にしたいと思います。

(1) このグループは、何について調べたり話し合ったりして発表しましたか。書きなさい。

(2) このグループでは、アンケートの結果からどんなことがわかったと言っていますか。これから言う、ア・イ・ウ・エの中から最も適切なもの一つを選んで、その記号を書きなさい。

ア 私たちの学校では、家庭、地域、学校で、積極的にあいさつをしている。

イ 私たちは、外出するとき、家族に対して「行って来ます」と言うことが少ない。

ウ 私たちは、家族に対してあいさつをする割合は高いが、近所の大人の人に対しては、あまりあいさつをしない。

エ 「おはよう」というあいさつには、自分の行動を相手に知らせるはたらきがある。

(3) このグループの人たちは、あいさつが大切なのはなぜだと考えていますか。書きなさい。

解 答

聞き取りのポイント

例 日常生活でのあいさつ

例 家庭の中・外出するとき

例 近所の大人の人に対して

例 あいさつすることによって、心と心の結びつきが生まれるので、日常生活でのあいさつをもっと大切にしたい。

例 あいさつには、「自分の行動を相手に知らせる」「感謝の気持ちを表す」「心と心の結びつきを生む」というはたらきがある。

例 (日常生活)でのあいさつ

(3)(2)(1)  
例 (あいさつによって)お互いの心が結ばれるから。